

しおんだより VOL.42



新しく2名の医師が当院に赴任されました！

4月に入り、新年度を迎えました。こういう年度替わりの時には、新しい出会いや別れがあるものです。年度末で、当院外科で3年間ご活躍いただいた江田将樹先生が離任されました。その一方で、新しく2名の医師が着任されましたので、ご紹介したいと思います。

生島裕文先生（左:消化器）
太田三徳先生（右:呼吸器）
の2名の先生です。皆様よろしくお願ひします。

お一方は、**生島裕文（いくしま ひろふみ）**先生。もともとは消化器外科がご専門で、長く内視鏡検査や手術の現場でご活躍をされていました。直近では、日本生命病院でご勤務をされていたが、次のキャリアということで当院に赴任されました。

もうお一方は、**太田三徳（おおた みつなり）**先生、大田先生は呼吸器外科がご専門で、肺がんの手術に長年取り組まれていた先生です。大阪府のはびきの医療センターの院長を務められた後、直近では大阪労災病院に呼吸器外科を立ち上げられ軌道に乗せられた後、当院に赴任されました。

循環器科の竹内麦穂（たけうち むぎほ）副院長も、長く心臓血管外科の手術に携わっていたので、今回の体制強化によって、**消化器、呼吸器、循環器の専門家が当院にそろうこととなります。**日常の各領域の疾患の患者さんだけでなく、術後比較的早期の状態の患者さんや、何らかの外科的処置が必要な患者さんにも、安心して過ごせるような体制をとることで、地域の中で「**思温病院があるから安心・安全**」とだけ思っていたら、病院運営に取り組んで参りたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。

当院では内視鏡手術も行っています

当院は急性期治療を行う病棟、自宅や施設への転院を目指して治療を継続する病棟、がんの終末期や長期の人工呼吸管理の方が比較的長く入院される病棟という3つの病棟から成り立っています。

もともとは、外科手術も熱心に行われていた病院でしたが、今では大きな手術は、規模の大きな病院で施行していただき、その前後の患者さんを当院でしっかりお受けすることを目指しています。

しかし、だからといって外科的な処置がないかという
とそうでもなく、また、外科治療が必要な疾患でも、良性疾患のように、いわゆる急性期病院で行うほどでもないものがあり、そういった疾患への対応能力を高めていくことは重要だと考えてきました。今回の外科の経験が長い先生をお二方お迎えしたことで、より柔軟に地域医療のニーズに答えるようにしていきたいと思えます。



生島裕文先生着任後、早速内視鏡下の手術が実施されました。
助手は、竹内麦穂先生でした。

土曜日朝のバラエティ番組（6ch）に出演してきました



土曜日朝のバラエティ番組らしい、
楽しい司会進行で、特等席で日米関係などのお話も拝聴しました。

ご覧になった方もいらっしゃるかも知れませんが、4月13日の土曜日、朝9時半から朝日放送（6ch）の「正義のミカタ」という番組に、医療にまつわる「先生」役で出演してきました。

テレビの取材などは今までも何度かありますし、ちょっとした特集番組に出たこともありますが、今回は、完全な生放送。しかも、タレントさんはもちろん、先生役の方もみなさんテレビでお顔を拝見している方ばかりで、少し緊張しました

私の担当したテーマは、この4月に「内臓脂肪減少薬」として新しく日本で発売された薬についての説明から始まり、そこから、肥満症薬のマーケットが飛躍的に伸びていることについての解説、さらには、日本の医療費を適正化するために、薬価のあり方をどのように考えるかといったお話まで、15分ほどで色々とお話しました。司会の東野幸治さんもそうですが、海原ともこさんやほんこんさんなども、お話が上手で、あっと言う間の90分でした。（文責：狭間研至）

しおんだより 第42号 発行日：令和6年4月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: www.shion-hp.or.jp